

YAMAKADO NEWSLETTER

NO.199

2016/06/20

山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会

華やぐ森に来訪者続く



5/30

6/10

6/10

今年のササユリの獣害防止作業は、4月21日から各種保全作業の合間を縫って実施してきました。昨年は金網設置後もシカの食害で相当数の株が駄目になりましたが、今年は久々に群生地も美しく咲き来訪者に堪能して貰っています。6/18最後に発芽した株が開花し今年のササユリのシーズンも終了です。ただ本会としての



トキシソウ(5/26)



ハッチョウトンボ♂(5/31)



ハッチョウトンボ♀(6/11)



ツチアケビ(6/18)

ササユリ保護活動は、10月末の朔果採取まで虫害・食害に遭わないよう巡視が必要です。付属湿地ではトキシソウ・サワラン・コバノトンボソウ・モウセンゴケ・サワラン・クサレダマなども分布を拡大し、ミヤコアザミも自然飛散した種子から実生が発生しています。年々分布を拡大するこれらの植物を観察しやすい状態に維持するための除草が課題です。昨年トノサマガエルの異常な増加で少なくなったハッチョウトンボは、トノサマガエルを昨年から捕獲して他の場所へ移動したことによって増え来訪者を喜ばせています。雌の発生は6/11と雄より後になりました。森の中では、久々にツチアケビの林立発芽となり今開花中です。

自然学習・保全作業に多くの団体が来訪

今年も小中学校をはじめとする自然学習・環境学習や保全活動に協力して貰っている多

くの団体が連日森は賑やかです。対応する会員も連日フル活動です。



永原小学校全校森の学習 (5/17)



永原小6年生の保全作業 (5/27)



塩津小5年生ひびきあい活動 (6/4)



岐阜・青山中学1年生140名の保全作業 (6/2)



西浅井中3年生林床整備作業 (6/7)



ミシガン州立大学連合留学生フィールドトリップ (6/3)



レイカディア32期生の保全作業 (6/3)



多賀ササユリ部会視察 (6/10)



三日月滋賀県知事視察 (6/11)

知事を囲んで緑陰懇談



琵琶湖環境科学研究センター職員と懇談 (6/15)



西浅井中1年生森の学習職員と懇談 (6/17)



天然更新試験地の植生調査開始 (6/18)

これらの団体のみなさんのガイド・共働の合間をぬって、食害防止のネット巡視・一般来訪者のガイド・調査等を同時並行でやっていくのはなかなか大変なことです。